

大井町第6次総合計画（素案）に対するご意見と対応の修正

該当頁	施策	箇所	意見概要	意見への対応	担当課
27	情報の共有	情報の発信	これからの世代にとってSNSの利用は欠かせず、町のFacebookは役立っていると感じる。現状の情報発信について、町として捉えている課題を、具体的に挙げて頂きたい。	<p>ご意見のとおり、今後SNSの利用は欠かせないものと考えます。なお、自治会未加入者へのフォロー等、課題は抱えておりますが、詳細にわたるため、本計画への掲載はいたしません。</p> <p>↓</p> <p>ご意見のとおり、今後SNSの利用は欠かせないものと考えます。今後の利活用については、時代の流れに沿った対応が求められることから、限定的な表現を避けるため、具体的な課題への対応ではなく、全体的な方向性で記載しております。</p>	協働推進課
27	情報の共有	施策の方向	<p>「情報の共有」「まちづくりへの町民参加」が、施策として位置づけられていることに違和感を感じる。これらは、いずれの「施策」にも関与してくる部分であり、施策全体に共通する土台部分として、別途、整理をした方が分かりやすい。</p> <p>「協働」や「情報共有」は、それ自体が「目的」ではなく「手段」としての位置づけとし「施策の推進にあたって」などとして、16頁に示されている「(2)横断的な取り組み」に図示されている13施策の土台として位置づけ、さらに「横断的な取り組み」として横串を指す形にしてはどうか。何か、「手段」が「目的化」しているように感じる。</p>	<p>ご意見のとおり、「情報の共有」及び「まちづくりへの町民参加」については、多くの施策に関係するものであり、別途、整理することもできると考えます。</p> <p>しかし、本計画(案)においては、それぞれを施策として位置づけ、施策の方向性・目標を定めることで、重点的に取り組んでいきたいと考えております。</p> <p>↓</p> <p>ご意見のとおり、「情報の共有」及び「まちづくりへの町民参加」については、多くの施策に関係するものであり、別途、整理することもできると考えますが、本計画において構成の変更はせず、「現状と課題」及び「施策の方向」にご意見を踏まえた修正を行い、取り組んでいきたいと考えております。</p>	協働推進課
29	まちづくりへの町民参加	/	地域での「お互いさま」の関係が希薄になってきている。様々な町民活動団体が情報を共有しながら共通の部分で協力し合える仕組みづくりが必要であり、社会資源としての町民活動団体の把握が求められていると思うがいかがか。	ご意見のとおり、「まちづくりへの町民参加」については、様々な課題がありますが、詳細にわたるため、本計画には掲載せず、ご指摘の点につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。	協働推進課

該当頁	施策	箇所	意見概要	意見への対応	担当課
29	まちづくりへの町民参加	現状と課題	<p>土地区画整理等に伴う宅地開発により、これまでの「地縁型コミュニティ」が薄れつつある中で、今後、特定の地域課題をテーマとして集まる「テーマ型コミュニティ」の役割が大きくなっていくように思う。「町内団体を対象とした助成制度の充実を図り、地域活動を促進します。」としているが、今後、住民主体の地域活動の範囲が広がるに連れ、活動場所として空き家の活用などが想定される中で、不特定多数を対象とした活動をするにあたり、建物の耐震性、各種保険への加入など、運営側が抑えておく部分もたくさんあると思う。金銭面だけでなく、運営ノウハウ、リスク回避といった視点からのサポートについて、記述をもう少し補強いただきたい。金銭的支援がメインなら「協働支援課」で十分ではないか。町民もプロではありませんので、まずは、町職員が積極的に地域に出て「協働」の意識醸成を図り、その上で、後方支援、環境整備といった形で後押しし、協働を推進する「協働推進課」であってほしいと思う。そういう意味では、「施策の方向」に係る記述が、他の施策に比べ、分量も少なく、やや物足りなく感じる。</p>	<p>ご意見のとおり、「まちづくりへの町民参加」については、様々な課題がありますが、詳細にわたるため、本計画には掲載せず、ご指摘の点につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。 (また、空き家の活用については、総合計画の下位計画として大井町空家等対策計画を策定し、対策に取り組んでいます。)</p>	協働推進課